



第74号

K A O R I

芳香

芳香 KAORI 74 号目次

巻頭言 令和6年度の活動状況報告	木原章雄	1
異動のご挨拶		
新任 生体分子機能学研究室 教授	黒木喜美子	3
生体分子機能学研究室 准教授	喜多俊介	3
薬理学研究室 准教授	木村生	4
天然物化学研究室 准教授	松田研一	5
創薬科学研究教育センター 有機合成医薬学部門 講師	勝山彬	5
生化学研究室 助教	城島啓佑	6
分子細胞医薬学研究室 助教	柘植厚志	6
生体分析化学研究室 助教	原田芽生	7
薬剤分子設計学研究室 助教	日比野光恵	8
転出 近畿大学薬学部医療薬学科 教授	竹内雄一	8
金沢大学医薬保健研究域薬学系 教授	中村孝司	9
長崎大学生命医科学域(薬学系) 教授	薬師寺文華	9
順天堂大学薬学部 准教授	大野祐介	10
慶應義塾大学薬学部 准教授	古堅彩子	10
京都大学白眉センター 特定准教授	吉野達彦	11
大学院薬学研究院の動き・人事異動		12
話題の薬		
経口 GLP-1 受容体作動薬 リベルサス®錠(セマグルチド)	梨本俊亮(57期)	14
子宮頸管熟化剤 プロウペス®陰用剤(プロスタグランジン E ₂ 製剤)	西村あや子(40期)	15
研究最前線		
医療現場から引き継いだ医療薬学・臨床薬学研究	井関健(22期)	17
芳香 SCIENCE		
抗悪性腫瘍薬の遊離形血漿中濃度測定的重要性～治療効果・毒性評価における意義～	藤田健一(39期)	23
ジアシルグリセロールキナーゼと様々な生理機能と病態との関連		
—がん、がん免疫、2型糖尿病、精神疾患等との関連—	坂根郁夫(25期)	28
研究者の闘魂～HCV 全ゲノム配列決定物語・栄光の影に挫折あり～	加藤宣之(20期)	33
長引くジェネリック医薬品の安定供給問題とドラッグロスについて	津田重城(24期)	39
研究の糸 ～天然の遺伝子治療薬のようにはたらく 4.5S RNA _H		
	中川真一(RNA 生物学研究室・教授)	53
芳香 ESSAY		
弁護士二十七人、相手にとって不足なし	桜間照雄(14期)	60
国家公務員への就職を考えている皆様へ	松田勉(24期)	65
人生振り返れば、同期に感謝	加藤宣之(20期)	70
国家公務員になりたい人はいますか	南亮介(46期)	73
薬学部卒業生が国立研究所で働いてみて	扇谷悟(27期)	77
上田 亨先生のお墓へ集団でお参り	周東智(23期)	81
北大入学から 42 年を振り返って	安田信之(30期)	82
芳香 REPORT		
大塚榮子先生の米寿と井上英夫先生の喜寿をお祝いする会	紙谷尚子(35期)	87
故栗原堅三先生を偲ぶ会開催報告	松岡一郎(旧職員)	88
2024 年度 幹事会報告	大西英博(43期)	89
第 18 回 ウイワイ会	田辺忠行(2期)	90

ミニ2期同期会	田 辺 忠 行 (2期)	91
13期最終同期会開催報告	青 木 憲 一 ほか (13期)	93
同窓会のページ		
会長挨拶		
薬学部同窓会会長に就任して	井 関 健 (22期)	96
同窓生からの寄稿		98
7期 佐藤 英 助 8期 藤 野 明 治 12期 伊 藤 志保子		
13期 佐々木 民 彦・松 浦 武 利 14期 四 宮 貴 久		
15期 田 中 澄 夫 17期 仁 木 寿 18期 滝 田 裕 子		
19期 前 田 史 郎 23期 島 谷 善 一 28期 亀 井 由 科 里・山 根 禎 子		
29期 岸 佳 奈 子・佐 伯 尚 美 30期 笠 原 憲 一 32期 澤 谷 規 子		
34期 小 野 敦 39期 中 村 奈 央 40期 山 本 利 花 42期 加 藤 二 郎		
55期 渡 瀬 慎 也 56期 永 野 悠 馬・廣 田 哲 人		
2024 (令和6) 年 3 月 卒業生名簿		111
2024 (令和6) 年度 同窓会活動報告		112
北海道大学薬学部同窓会 2023 (令和5) 年度 会計報告		114
2024 (令和6) 年度 北海道大学薬学部同窓会役員・幹事		115
北海道大学薬学部東京同窓会 2024 年度報告		117
北海道大学薬学部関西同窓会 2024 年度報告		119
北海道大学薬学部 第25回生涯教育特別講座の開催		122
2024 (令和6) 年度「先輩と語る」講演会報告		122
薬学祭 2024		123
紅麹問題とサプリメントについて	芳香編集委員会	124
芳香編集委員より		126
編集後記		127

表紙：「初秋の薬学部エントランス」

藤田 (早川) 有美さん (28期)

プロフィール

画家・イラストレーター (北海道旭川市出身 札幌市在住)

2004年ペンと透明水彩によるスケッチ画と出会い、以降、地元や旅先で身近な風景を描き続けています。

2007年より札幌市内でスケッチ教室開講中。

藤田さんからのコメント

北大キャンパスの風景はこれまで何度もスケッチしてきましたが、なぜか薬学部はまだ描いたことがありませんでした。今回、表紙絵用に描いてみると、緑のトンネルのような玄関前アプローチは意外と雰囲気があり、私にとっても良い機会になりました。

ふじたともみペンスケッチギャラリー

<https://tomomisketch.jimdofree.com>

Instagram @tomomi_8673

